【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成17年4月7日(2005.4.7)

【公開番号】特開2003-176808(P2003-176808A)
【公開日】平成15年6月27日(2003.6.27)
【出願番号】特願2002-333803(P2002-333803)
【国際特許分類第７版】
　Ｆ１６Ｂ　15/04
　Ｆ１６Ｂ　15/00
　Ｆ１６Ｂ　15/02
【ＦＩ】
　Ｆ１６Ｂ　15/04　　Ａ
　Ｆ１６Ｂ　15/00　　Ｅ
　Ｆ１６Ｂ　15/00　　Ｍ
　Ｆ１６Ｂ　15/00　　Ｖ
　Ｆ１６Ｂ　15/02　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成16年5月13日(2004.5.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
１組の差込片を具備し、固定した物品から引抜き力が作用すると、差込片により引抜き抵抗が増大することを特徴とする物品の固定具。
【請求項２】
１組の差込片を交差させてボードに差し込み、物品から引抜き力が作用すると、差込片を開方向に作用させることを特徴とする物品の固定具。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
　【０００４】
【課題を解決するための手段】
本発明は、上記課題を達成するために、請求項１記載の物品の固定具は、１組の差込片２，３を具備し、固定した物品から引抜き力が作用すると、差込片２，３により引抜き抵抗が増大することを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
　また、請求項２記載の物品の固定具は、１組の差込片２，３を交差させてボードに差し込み、物品から引抜き力が作用すると、差込片２，３を開方向に作用させることを特徴と

する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３３】
【発明の効果】
本発明は、上記構成により、１組の差込片を具備し、固定した物品から引抜き力が作用すると、差込片により引抜き抵抗が増大する物品の固定具としたこと、或いは、１組の差込片を交差させてボードに差し込み、物品から引抜き力が作用すると、差込片を開方向に作用させる物品の固定具としたことで、固定具Ｃの固定強度は、画鋲等に比べて極めて大となる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３４
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３６
【補正方法】削除
【補正の内容】